

宗内寺院紹介 **85**

神奈川教区川崎第1部

日王山 幸福寺



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①本堂      ②本尊阿弥陀如来      ③羊の石碑  
④不動明王像      ⑤愛染明王像      ⑥大黒天

当幸福寺は、室町時代の応永元年（一三九四）に祐尊法印を開基として創建されました。本年で六百三十年です。本尊の阿弥陀如来像は寛文年間の作と言われています。本尊阿弥陀様は当山に伝わる「高声念仏」の本尊として、お念仏を大きな声で唱え、木魚を硬い木のばいで叩く珍しい念仏が古くから伝えられています。当寺の門には「幸福寺」としるした石碑が建っています。「羊」と創作されたこの字については、次のいわれが伝わっています。

中東（イラク・イラン・トルコ等）では、羊は富の象徴とされ、羊を沢山所有しているのは、幸福の証でした。つまり「羊」という字には、富と幸福のシンボルである「羊」と「幸せ」を掛け合わせてあるのです。

神奈川教区川崎第1部  
日王山 幸福寺

住 所／〒210-0004 神奈川県川崎市川崎区宮本町2-21  
電話番号／044-222-4566